

産業人クラブだより 一かけはし



けたい。（全3回）

小さくても本物

掛川産業人クラブの産業工業（静岡県菊川市、高野太作社長、0537-73-2485）は、自動車用プレス部品製造が主力。

深絞り加工得意としており、薄板から厚中板までを高精度に加工する。切削や鋸造による加工から、より工程を削減できるプレス加工への工法転換を、自動車部品メーカーに提案している。

ある車の足回り部品では厚さ6.5ミリの板材を、肉厚を均一に保ちながら90ミリの深さに絞る。通常は鋸造品で製造する厚さの部品だが、高い圧力の機械式プレス機をたくみに扱って加工する。

さまざまな展示会にサンプル部品を出し、アピール。会場でプレス品への転換を検討する調達担当者もいるほど出来栄えた。

端面と側面の角度をほぼ90度に仕上げる「ピン角」も得意技術の一つ。ビ

掛川産業人クラブへ転換提案



角部は「削り加工なしで、角がほしい」とのユーザーの要望を受けて開発した。

絞る工程で材料を必要な部分に寄せると、鋸角を実現した。加工後の材料の検査体制も整備し、品質管理にも万全を期している。

現在、自動車部品メーカーと10件ほどの部品開発に取り組んでいる。高野社長は「部品メーカーと一緒にやることで、提案力も付いてきた」と手応えを感じている。

当社の中核技術は創業の基礎となる溶接機器であり、現在も主力製品の位置付け。最先端のMIG溶接機や抵抗溶接機、レーザー溶接機、溶接データの監視装置や溶接用ボット制御機器などの溶接関連機器の最先端の製品をトータルで提供できる。

また女性社員が増えてきることを受け、女性が働きやすい職場環境も整えている。例えば女性の営業部隊を組織し、女性の活躍の場を広げるようしている。これからも次代を担う優秀な若者が活躍できる場を提

めている。

そのためには、現地の人と英語

で交渉しなければならない。このため、英語力を生かして世界の先端技術を扱う分野で活躍したい人材を求めている。

また女性社員が増えてき

ることを受け、女性が働き

やすい職場環境も整えてい

る。例えば女性の営業部隊

を組織し、女性の活躍の場

を広げるようしている。

これからも次代を担う優秀な若者が活躍できる場を提

めている。

また女性